

新市建設の基本方針

まちづくりの基本理念 ~新しいまちづくりを進めていく上で大切にしたいこと~

豊かさ、安らぎ、快適な生活を
市民が支えあう自主自立のまちづくり



まちづくりは、すべての人々が、ものと心の豊かさを楽しむ、安全・安心に快適な生活を送ることができる、そしてそれを可能にする環境を整えることが一番大切なことです。これは独りで得られるものではなく、市民一人ひとりが役割を担い、支え合い、行政と協働してこそ実現することができます。

新しい上越市が目指すのは、市民が自主的に支え合い、まちや地域として自立していける姿です。そこでは人(個人)と地域経済と行政とが自立して、それぞれの役割をしっかりと担い、協働していくことが何よりも大切になります。

新しいまちの将来像 ~みんなでこんなまちをつくりたい~

海に 山に 大地に
なりわいと文化あふれる 共生都市上越

新しい上越市は人口が21万人を超える、力を持った都市となります。14市町村が一緒になって、お互いの良さをいかしながら、共に支え合い、共に生きていく「共生都市上越」。海・山・大地という自然との関わりの中で、この地域で暮らしを立てる仕事を受け継ぎ、あるいは創り出しながら、共に新しい未来を築いていくまちをつくりま

なりわい

上越地域は歴史的にも豊かな経済活動を行ってきましたが、社会経済の大きな変化に対応していくために、より足腰の強い経済を築いていくことが、今、重要になっています。

海のなりわい、山のなりわい、大地のなりわい。

生き生きとしたなりわいが地域に満ち、活力があふれるとき、私たちのまちは豊かで安らぎのある快適な生活ができるまちになります。

なりわい(生業)とは… 古くは「農業」または「その作物」を表し、生活のための職業、営みを意味します。ここでは、海・山・大地という自然との関わりの中で、この地域で暮らしを立てる仕事を受け継ぎ、あるいは創り出していこうという意味合いがあります。

文化

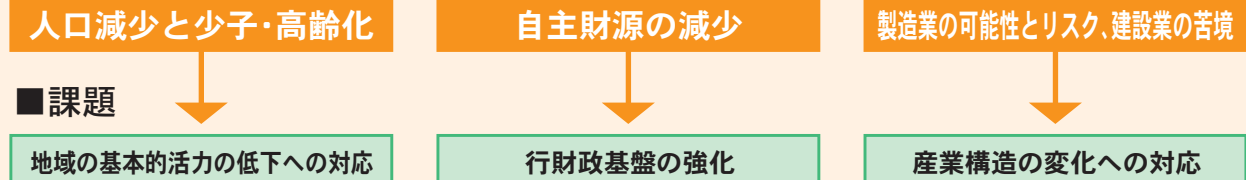
恵まれた自然条件の中で私たちの生活文化は培われ、豊かな心が生み出されていきます。豊かな自然の中で豊かな心を持つ人が住むまちは、その魅力で、人が訪れてみたい、そして住んでみたいまちになります。

訪れる人を満足させ、もてなす側も満足を分かち合う。これがもてなしの文化です。これまで培ってきたもてなしの心を大切にする、もてなしの文化あふれるまちにしたいと考えています。

地域の課題とまちづくりの方向性



■現状と見通し



■まちづくりの方向性

- 1) 豊かさ、安全、安心を実現するしなやかで活力のあるまちと地域づくり
社会や経済の変化に柔軟に対応し、だれもが豊かに、そして安心して暮らせる地域を常に保ち続けることができる足腰の強いまち、地域をつくりま
- 2) 市民本位、市民が支えるまちづくりとその仕組みの構築
市民の視点に立ち考えた、豊かで、安らぎのある暮らしを実現するために、市民一人ひとりが地域社会を支える役割を担い、互いに支え合っていくまちをつくりま
- 3) 行政の効率化、コストの引下げによるきめ細かい行政施策の展開
14市町村に分散する行財政基盤や都市機能を再構築し、効率的な行財政運営を実現します。同時に、旧市町村を基本単位とした行政運営の仕組みを導入し、きめ細かい行政施策を展開します。
- 4) 道州制導入に当たっての「州都」実現に向けた都市機能の整備
都市として更に発展し、市民生活の質の向上につながるべく、新しい上越市の位置的な優位性や交通ネットワークをいかして都市機能の整備を進め、道州制導入に当たっての「州都」実現の可能性を高めていきます。

土地利用の方向性



- 市街地**
 - 工業や商業が集積する第2次・第3次産業の中核として利用
 - 都市的な住宅を配置
 - コンパクトな地域に多様な施設を集約することによる良好な都市環境の保全
- 田園地域**
 - 優良農地を保全
 - 農業の生産力向上、安全な食料生産を支える土地利用
 - 農村が持つ環境・景観等に合わせた居住環境整備
 - 工業、流通施設の立地抑制
- 中山間地域**
 - 環境の保全、災害防止機能の向上
 - 自然の特性をいかした産業を促進するための土地利用
 - 中山間地域が持つ環境や景観等に合わせた居住環境の整備
 - 地域資源をいかした体験・交流、観光、スポーツ・レジャーの場の提供